

1. 基本的な事項

○空港の特徴

- ・山形空港は山形県東根市に立地する特定地方管理空港であり、空港周辺は県内を貫流する最上川の扇状地である。
- ・滑走路1本と旅客ターミナル1棟を有し、県警察・消防防災の航空基地及び陸上自衛隊第6飛行隊の施設が併設されており、乗降客数約34万人、着陸回数5,775回（2023年度）を取り扱っている。

○空港脱炭素化に向けた方針

- ・空港施設や灯火のLED化、高効率空調への更新、空港車両のEV化等の省エネのほか、再生可能エネルギーの導入などに取り組む。

2. 温室効果ガスの排出量

区分	温室効果ガス排出量 [t / 年]		
	2013年	現状 (2022年)	
空港施設	0.99千	1.03千	
空港車両	0.15千	0.15千	
空港施設・車両 計	1.14千	1.18千	
(参考)	航空機	0.7千	1.7千
	空港アクセス	0.7千	1.4千

3. 温室効果ガスの削減目標

2030年度目標	2013年度比 50.0%削減
2050年度目標	カーボンニュートラル

4. 主な取組

- ・2030年度：空港施設や航空灯火のLED化、空調設備等の高効率化、空港車両のEV化による省エネに取り組む。
- ・2050年度：太陽光発電設備の導入を検討。



取組の実施箇所

その他の取組

- ・地域連携・レジリエンス：災害時に周辺地域EV充電需要への対応を検討する。
- ・意識醸成・啓発活動等：協議会で取組成果の確認や課題等を共有し、空港利用者及び利用者への理解促進の取組につなげる。